

令和5年6月26日

## 品川区新総合庁舎整備管理支援等業務委託（その1） 事業者の選定結果について

品川区では、品川区新総合庁舎整備管理支援等業務委託（その1）の委託事業者について、簡易型プロポーザル（公募型）を実施しました。公募の結果、2事業者から応募があり、厳正な審査を行った結果、事業者を下記のとおり選定しました。

### 1 業務件名

品川区新総合庁舎整備管理支援等業務委託（その1）

### 2 選定事業者

- (1) 事業者 株式会社三菱地所設計 代表取締役社長 谷澤 淳一
- (2) 所在地 東京都千代田区丸の内二丁目5番1号

### 3 選定方法

(1)の一次審査を通過した事業者（応募があった全ての事業者）を対象に(2)の二次審査を実施し、(3)の審査会、(4)の選定会議を経て事業者を特定しました。（一次審査および二次審査の結果は、別紙のとおり）

#### (1) 一次審査（書類審査）

資格要件や業務実績、小論文について審査する。

#### (2) 二次審査（書類審査・プレゼンテーション・ヒアリング）

提案内容や業務遂行能力について審査する。

#### (3) 審査会

審査基準に基づき審査し、その結果を選定会議に通知する。

〈委員構成〉

委員長 新庁舎整備担当部長

委員 施設整備課長、情報推進課長、新庁舎整備課長

新庁舎建設担当課長、都市計画課長、学校施設担当課長

#### (4) 選定会議

審査会からの通知により、最適と認められる事業者を特定する。

〈委員構成〉

委員長 副区長

委員 企画部長、総務部長、新庁舎整備担当部長、都市環境部長、  
教育次長

## 4 審査基準

審査項目	審査の着眼点
業務 遂行能力	業務実績、能力、経験
	財務状況
	業務の実施人員体制・スケジュール管理
企画提案	本業務への理解度・意欲
	提案書の構成・視点
	提案内容の具体性・実効性
業務経費	費用対効果

## 5 外部有識者による意見聴取

評価の公平性・透明性を確保するために、ヒアリング時に下記の外部有識者から意見を聴取しました。(敬称略、50音順)

氏名	役職等
小笠原 正豊	東京電機大学未来科学部建築学科 教授
蟹澤 宏剛	芝浦工業大学建築学部建築学科 教授
権藤 智之	東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 准教授

## 6 選定経過

- (1) 公募期間 (手続開始の公表) 令和5年2月3日(金)～13日(月)
- (2) 第一次審査 (参加要件等審査) 令和5年2月14日(火)～17日(金)
- (3) 事業者説明会 令和5年2月22日(水)
- (4) 第二次審査 (ヒアリング) 令和5年4月10日(月)
- (5) 審査会 令和5年4月18日(火)
- (6) 選定会議 令和5年4月26日(水)
- (7) 事業者決定 令和5年5月15日(月)

## 7 選定理由

選定事業者の提案は、新総合庁舎整備事業の目標スケジュールを十分に踏まえ、効果的な管理支援を実現する内容でした。詳細な中間目標の設定による実効性の高い作業工程などの提案をしたことが高く評価されました。また、一般的な庁舎建築としての要素に加え、基盤整備・インフラなどの特殊要因などにも配慮された提案内容でした。

各協議の場にきめ細かく人員を配置し、同時進行の会議や業務ピーク時、想定外の状況時にリアルタイムの情報共有をすることで迅速かつ柔軟な対応が可能

な点、多様な関係者との情報共有が可能な点、専門性の高い課題は即座に社内専門領域バックアップチームへ展開し課題の速やかな解決に向けて動くことができる点などの具体的な提案は説得力があるもので、区の意向を設計に十分反映するための綿密な意思伝達・情報共有体制が構築できるものと考えられます。

ヒアリングにおいても、多岐にわたる分野を専門性の高い担当者が検討しながら、それらを統括する技術者と発注者が強く連携する方針が提案され、総合設計事務所として意匠・構造・都市計画などの多分野においてレベルが高い管理支援が期待できるものでした。

以上のことから、総合的な判断のもと最も優れた提案であるとし、受託候補者として特定しました。

## **8 今後のスケジュール（予定）**

令和5～6年度 基本設計・実施設計

令和7年度 建設工事開始

※今後、設計業務において工事期間を精査していきます。

## **9 問い合わせ先**

品川区役所 新庁舎整備課 新庁舎整備担当

電話：03-5742-7801

FAX：03-5742-7143

品川区新総合庁舎整備管理支援等業務委託プロポーザル 審査結果

項目			配点(審査員合計)	事業者別採点(審査員合計)	
				A	B
1 次 審 査	業 務 能 力 遂 行	業務実績、能力、経験、人員体制 小論文	280	217	175
2 次 審 査	企 画 提 案	本業務への理解度	70	48	54
		本業務への意欲	70	48	52
		提案書の構成・視点	70	44	52
		提案内容の具体性・実効性	70	36	56
		発注者支援体制	70	46	58
	業 務 能 力 遂 行	業務の実施人員体制	70	46	56
		スケジュール管理	70	40	56
		能力、経験	70	46	52
	業 務 経 費	提案額の妥当性	210	164	172
		費用対効果			
総合計(1次審査+2次審査)			1050	735	783